

おすすめ本紹介

◆テーマ◆

どう生きるか

●グラフィック伝記 フレディ・マーキュリー

アルフォンソ・カサス作 宇野 和美・小原 京子 訳 岩崎書店

1970年代に結成されたイギリスのロックバンド「クイーン」のリード・ボーカルだった、フレディ・マーキュリーさんの伝記。

今、中学生のみなさんにとってはだいぶ昔の人、かもしれませんが、表紙のイラストを見れば、「テレビで見たかも。」と思ったり、「We Will Rock You」という曲名は知らなくても、ドン・ドン・バン！という足踏みと手拍子が頭の中をよぎる人、結構多いのではないのでしょうか？

この本は、タンザニアに生まれインドで過ごした幼少期から、ロックスターとして世界的な成功を収めた後、45歳でエイズのため亡くなるまでの生涯を、ポップなイラストでたどったもの。彼が作曲した型破りな曲「ボヘミアンラプソディ」になぞらえて構成された章立ても際立っています。

もしもあなたがロックファンなら必読の、そうでなければ、イラストを眺めるだけでも楽しい一冊です。

●ルース・バイダー・ギンズバーグ (信念は社会を変えた!3)

ジェフ・ブラックウェル&ルース・ホブダイ編集 橋本 恵 訳 あすなろ書房

表紙の写真の女性は、「ノトーリアス(悪名高き)RBG」と呼ばれた、ルース・バイダー・ギンズバーグ(Ruth Bader Ginsburg)さん。アメリカの法律家で、連邦最高裁の史上二人目の女性判事でした。

1960年代、女性の社会的地位がとても低かった時代に、当時数少なかった女性弁護士となり、人工妊娠中絶や同性婚の権利を支持し、2020年に87歳で亡くなるまで、女性や少数者の権利を擁護する判事として現役で活躍しました。「誰もが平等に活躍できる社会」の実現に多大な貢献をした人物として知られています。

「ノトーリアス(悪名高き)RBG」とは、1990年代に活躍した巨漢のラッパー「ノトーリアスB I G」をもじったもの。小柄な彼女のすご腕ぶりを賞賛し、親しみを込めて付けられたこのニックネームを、本人はとても気に入っていたそうです。

この本は、ルースさんへのインタビューを編集して、その人生の歩みがわかるように構成されたもの。比較的短いので、すぐに読み終わると思いますよ。

●おとなになるのび太たちへ 人生を変える『ドラえもん』セレクション

藤子・F・不二雄 まんが 小学館

あなたは、まんがの『ドラえもん』をよく読みますか？お気に入りの一話がありますか？

1969年に連載が始まった『ドラえもん』には、「子どものころからの大ファン」というおとなも多いようです。

この本は、俳優の菅田将暉さん、プロラグビー選手の田村優さん、小説家の辻村深月さんなど、あこがれの職業で活躍する10人のおとなが、自分のお気に入りの『ドラえもん』を一話推薦し、なぜそれを推すのかとともに、自分がどんな経験をし、どんなことを考えてきたのかを、これからおとなになる人々に語ってくれる本。

もちろん、各人推しの『ドラえもん』が合計10話掲載されています。まんがを楽しみながら、人生のヒントを見つけられるかもしれません。